

## 区自治協議会提案事業 事業評価書

## 中央区自治協議会

区分	内容
テーマ・事業名	子どもが真ん中！地域と学校でつくる学びの未来～提案型協働事業～ 【事業費当初予算 1,200千円】
事業目的・概要	市教育ビジョンの柱である「学・社・民融合による人づくり、地域づくり、学校づくり」に沿い、学校現場などで地域課題と向き合っている方々が提案する子どもたちの未来につながる様々な事業を、部会員がサポートし、継続実施に向けて一緒に取り組んでいく。
事業の実施実績 (実施回数、参加者数など)	<p>○実施した提案型協働事業</p> <p>【地域みんなが見守り隊】 白山小学校こども見守り隊のオリジナルバンダナを作成して地域住民やPTA関係者に配布し、日常的に見守り活動に参画していただいた。平成30年9月からバンダナを付けての見守り活動を開始し、地域住民、学校、PTAが連携し、多くの方から見守り活動に参加していただいた。 また、小学校の保護者を対象に、アンケートを実施し効果測定・検証を行い、今後も継続して参加者を増やすための検討を行った。</p> <p>【新潟じまんたんけんたい事業】 新潟青陵大学の学生グループが浜浦小学校の3年生とともに、新潟の自慢を再発見する事業を実施した。 平成30年10月30日、11月20日、平成31年2月5日、計3回にわたって、「調べる・聞く・まとめる」の活動を行い延べ84人が参加した。</p> <p>○提案型協働事業実施報告書の作成・配布 部会で取り組んだ協働事業は「地域活動補助金」を活用して実施できる内容が多くあるため地域での活動の参考としてもらうため報告書を作成し、コミ協や地域教育コーディネータなどに配布した。</p> <p>○実施に至らなかった事業</p> <p>【白新地域丸ごと安心見守り事業】 鏡淵小学校PTA会長より申請のあった事業で、民間事業者が提供する「見守りタグ」サービスを活用してコミュニティセンターや学校などを拠点に感知器を設置するとともに地域住民がサポートすることで見守り活動を効果的・効率的に実施したいとのことで提案があった。保護者や学校にアンケートをとったところ、全員の同意が得られないことから申請取り消しとなった。</p>
事業の評価 <small>地域課題の抽出方法や企画立案の評価 事業の公益性・実効性・効率性の評価など</small>	<p>○個別事業の評価</p> <p>【地域みんなが見守り隊】 見守り隊からは、バンダナは気軽に身に付けられて良いという意見があり、地域の連帯感の醸成と子どもたちの見守り体制の強化が図られた。 またPTAからは、約3割は見守りの際にバンダナを利用して効果があったという意見もあったものの、一方で7割は利用しておらず、また厳しい意見もあった。バンダナを利用するのは手段でしかないので、より一層の活用に向けた普及・啓発は今後の課題となった。</p> <p>【新潟じまんたんけんたい事業】 部会メンバーが地域と学校、そして行政との繋ぎ役となり、時にはノウハウを提供するなど「協働の要」としての機能を存分に発揮したことにより実施できた事業で、その結果、学生にとっては地域を知る素晴らしい学びの機会となり、子どもたちにとっても異年齢の交流や、地域との改めでの接点など、さまざまな発見や気づきがあった。若い世代が、地域の産物やそこに住む人々に魅力を感じることはこれからの新潟の活力になることを期待したい。</p> <p>○事業全体を通しての評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の申請者から部会に来てもらい直接聞き取りを行ったことで、より地域の課題を知ることができ、多種多様な地域課題の解決ができたことは評価される。</li> <li>・地域と学校で提案事業を進めていくうえで、予算執行や制度について様々な制約や規制があり、一つ一つ丁寧に確認しながら進めていく必要性を感じた。</li> <li>・提案事業の実現に至るまでの過程やノウハウを報告書としてまとめ、発信することで、今後の地域活動の参考として活用されることが期待できる。</li> <li>・この事業を通じて見えてきたこととして「地域とともにある学校を実現するための環境づくり」と「地域教育コーディネーターの役割や立場の違い」の2つの課題を教育ミーティングで発表し、教育委員会に対して課題の検討を提案することができた。</li> </ul>
備考	